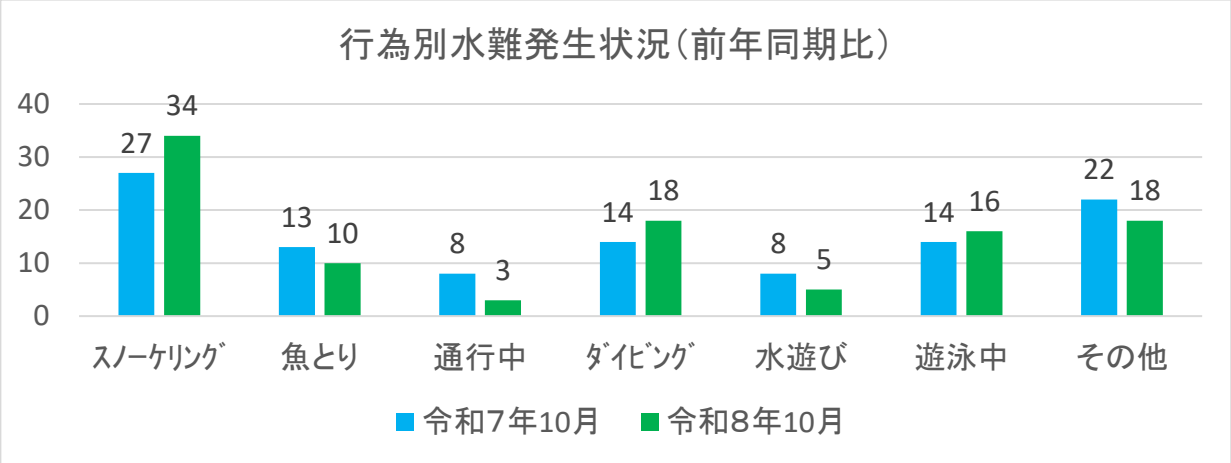
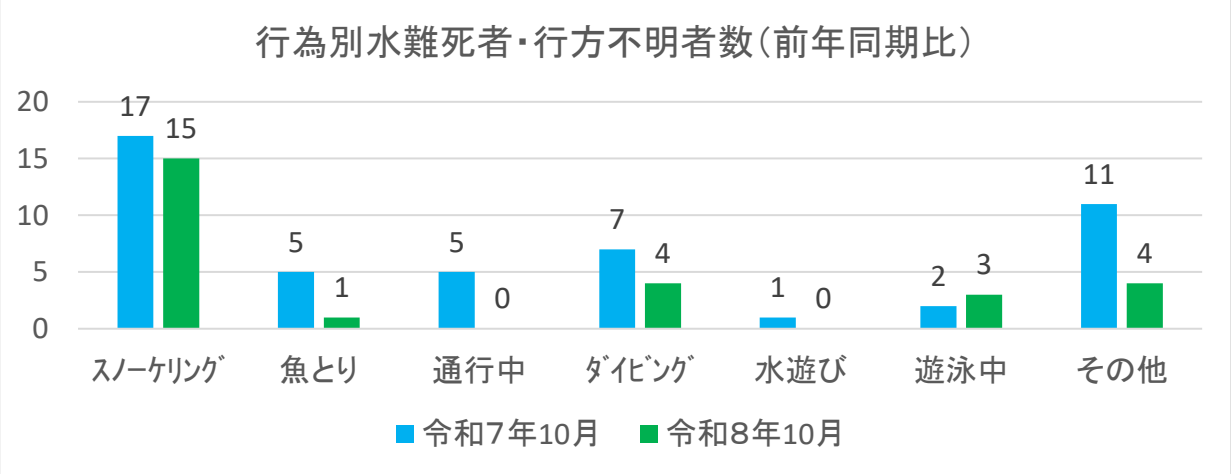
行為別水難発生状況（全体・暫定値）

※　令和8年10月末現在

項目	令和8年10月 発生件数	令和7年10月 発生件数	発生件数 増減	令和8年10月 罹災者数	令和7年10月 罹災者数	罹災者数 増減	令和8年10月 死者・行方不明者数	令和7年10月 死者・行方不明者数	死者・行方不明者数 増減
ｽﾉｰｹﾘﾝｸﾞ	34	27	7件	38	30	8人	15	17	−2人
魚とり	10	13	−3件	11	18	−7人	1	5	−4人
通行中	3	8	−5件	3	9	−6人	0	5	−5人
ﾀﾞｲﾋﾞﾝｸﾞ	18	14	4件	18	15	3人	4	7	−3人
水遊び	5	8	−3件	6	8	−2人	0	1	−1人
遊泳中	16	14	2件	19	16	3人	3	2	1人
その他	18	22	−4件	38	30	8人	4	11	−7人
合計	104	106	−2件	133	126	7人	27	48	−21人





特徴

○　水難事故（令和8年10月末現在）については、暫定値で発生件数104件（－2件）、罹災者数133人（＋7人）、死者・行方不明者数27人（－21人）となっており、前年同期と比較して、罹災者数は増加したものの、発生件数と死者・行方不明者数は減少している。

○　沖縄県民の事故が34件、死者・行方不明者数6人に対し、観光客の事故が67件、死者・行方不明者数20人となっており、事故件数では観光客が沖縄県民の約2倍となる一方、全体に占める死者・行方不明者数の割合においても、観光客が約7割と非常に高くなっている。